



井上 敦雄 氏

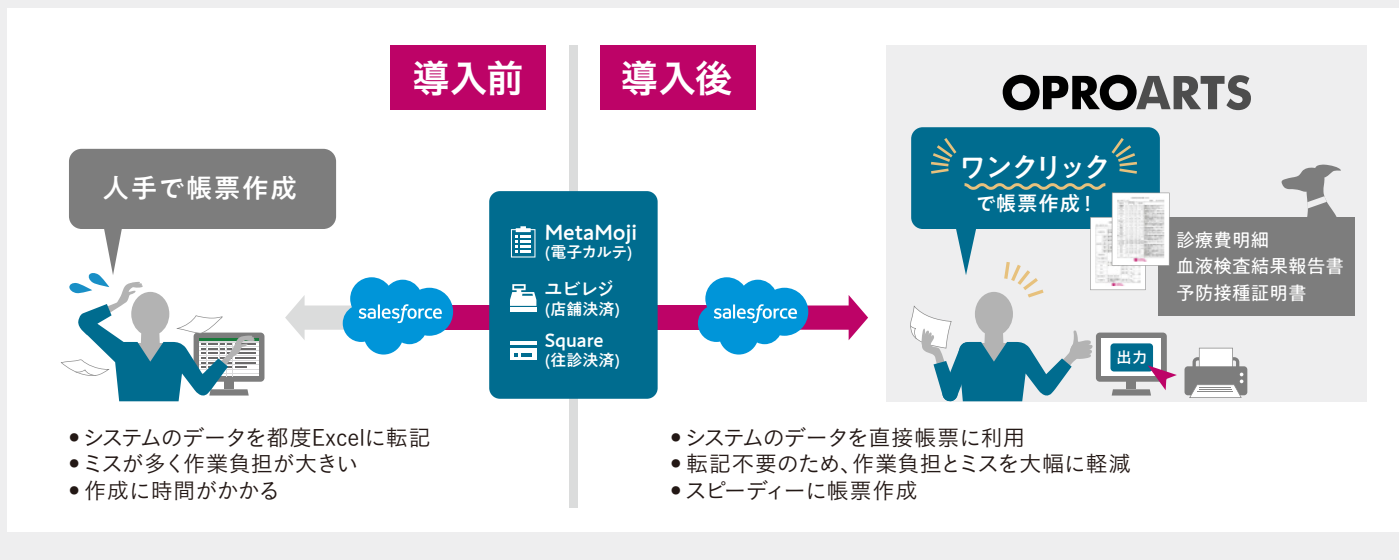
柴山 紀彦 氏

[動物医療×IT]の可能性を高める OPROARTSを活用した業務効率の向上を実現

アニドックはペットの長寿と顧客第一主義を掲げたサービスを提供している。「動物病院の直営はもちろん、フランチャイズ展開や往診動物病院事業などを展開することで、お客様とペットにとって良い環境をお届けするための事業を行っています」と語る、アニドック 柴山氏。アニドックでは、「獣医師向けの『anidoc system』という往診動物病院の診療情報、会計情報を蓄積・管理するシステムがあります」と語るのはアニドックのシステムパートナーである、アツワークス 井上氏だ。

主な効果

- OPROARTSによりワンクリックで帳票を出力でき、業務効率が上がった
- 書類作成の入力ミスや労力を削減した
- 顧客の待ち時間を減らせるようになった



Salesforce(soarize)上のデータを活用

Salesforce(soarize)に格納されているデータを『anidoc system』と連携し、電子カルテシステムや店舗決済システム『ユビレジ』、往診決済システム『スクエア』で利用する。「また、ユビレジで発生した決済情報もSalesforce(soarize)に格納します。しかし、それを帳票として出力する仕組みがなかったため、様々な問題が発生したのです」と井上氏は語る。

獣医師や事務スタッフはSalesforce(soarize)上の会計データを見ながら、Excelに入力し書類を作成していた。その場で作成していたため精算が終わるまでお客様にお待ちいただく必要があった。また、手入力や手書きにより誤記入のミスも多く獣医師や事務スタッフの負担も大きかった。「書類をスムーズに作成したい。そのニーズを念頭にシステムの強化を図ることにしたのです」と柴山氏は語る。

導入時間の短縮

アニドックではシステム改善に取り組み始めOPROARTSの導入を決めた。「Salesforce(soarize)のデータを直接出力することができる点が大きかったです。Salesforce(soarize)上のデータをそのまま使うことができれば業務効率化が狙えます」と井上氏。また、「これまで各病院がExcelで作成した書式をそのままテンプレートとして活用できるのも使い勝手がよく感じました。同時に開発工数を大幅に減らすことができます」と井上氏は語る。

ワンクリックで書類を作成

診療明細書は複数枚つづりになることがあるが、OPROARTSは改行・改ページをスムーズに出力できる。

また、獣医師が細かい項目一つひとつを入力する血液検査結果報告書については、検査会社や獣医師がSalesforce(soarize)に結果を入力することになっているので、新たに転記する必要がなく、ワンクリックで結果を出力できるようになった。また、ペットは毎年予防接種証明書がひとつになるが、これも日付を入力しワンクリックで印刷できるようになった。

動物病院としてのさらなるサービス向上を目指す

OPROARTSを導入することで、課題であった顧客の待ち時間の大幅な短縮を実現し、業務効率の向上や人的負担の軽減など、様々な面で大きな業務改善を実現した。「一番大切なお客様の待ち時間を大幅に減らすことができ、動物病院としてのサービス向上が果たせたことがもっともうれしいですね」と語る柴山氏。ペットの健康と長寿はすべての愛好家にとって大いなる願いでもある。この願いを叶えるため、サービスの領域を広げていくアニドックとアツワークス。日本オプロも最大限の力で同社を支えていく。